

# 中山国交相が辞任



電子速報版

2008年9月28日(日)発行

発行所

山形新聞社

山形市旅籠町二丁目五番

電話 代表023(622)5271

Copyright (c) 2008  
Yamagata Shimbun

山形新聞ホームページ

web <http://yamagata-np.jp>

携帯 <http://yamagata-np.jp/k/>

購読申し込み(9~17時)

0120-81-8040

詳しくは山形新聞を  
ご覧ください。

## 在職5日、問題発言で引責

## 政権、衆院選に影響必至

中山成彬国土交通相(65)は二十八日午前、麻生太郎首相に官邸で会い、「日本教職員組合(日教組)をぶっ壊す」など一連の問題発言の責任を取って辞表を提出、受理された。二十四日に新聞閣が発足したばかりで閣僚が在職わずか五日で辞任に追い込まれたことにより、今後の麻生政権や十一月に想定する次期衆院選に影響するのは必至だ。

首相は中山氏の辞任で事態の沈静化を図りたい考えだが、野党は首相の任命責任を厳しく追及する方針。首相は二〇〇八年度補正予算案の早期成立を目指しているが、与党内で野党の攻勢を避けるため各党の代表質問が

終了する十月三日の衆院解散を求める声が強まりそうだ。自民党の細田博之幹事長は二十八日朝の民放番組で、中山氏に関する麻生首相の任命責任について「当然あると思う」と表明した。

中山氏は二十五日、報道各社とのインタビューで大分県の教員汚職事件に関し「体たらくは日教組(が原因)。日教組の子どもなんて成績が悪くても先生になる」と述べたほか、「日本は随分内向きな単一民族」「(成田空港反対闘争は)ごね得というか、戦後教育が悪かった」などと発言。その後、発言を撤回するコメントを発表していた。

しかし、二十七日、地元宮崎市での会合で「何とか日教組は解体しなきゃいかん」と思っている。「日本の教育の『がん』である日教組をぶっ壊すために私が頭になる決意を示した」などと日教組批判を繰り返した。

この後、都内に戻り記者団に「国交相を離れて一政治家として発言した」と強調。同日夜、「自らの発言が国政の停滞や国交省行政に悪影響を及ぼしてはならない」として、辞任する意向を固めていた。



報道陣の質問を遮りながら首相官邸に入る  
中山国交相 28日午前9時26分